

くるめ支え合うプラン

(久留米市地域福祉計画・久留米市地域福祉活動計画)

次期プラン策定の方向性について

久留米市 健康福祉部 地域福祉課
社会福祉法人 久留米市社会福祉協議会



『くるめ支え合うプラン』について



●プランの法的性格

- ・ **第3期地域福祉計画 + 第6次地域福祉活動計画**
(市の地域福祉計画と市社協の地域福祉活動計画を一体化)
- ・ 成年後見市町村計画を包含
- ・ プラン分冊：再犯防止推進計画

●地域福祉計画とは

- ・ 市町村が、地域福祉推進の主体である地域住民等の参画を得て、
【地域福祉の推進に関する事項】を一体的に定める計画

- ① 地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、**共通して取り組むべき事項**
- ② 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
- ③ 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
- ④ 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項
- ⑤ **地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備に関する事項**

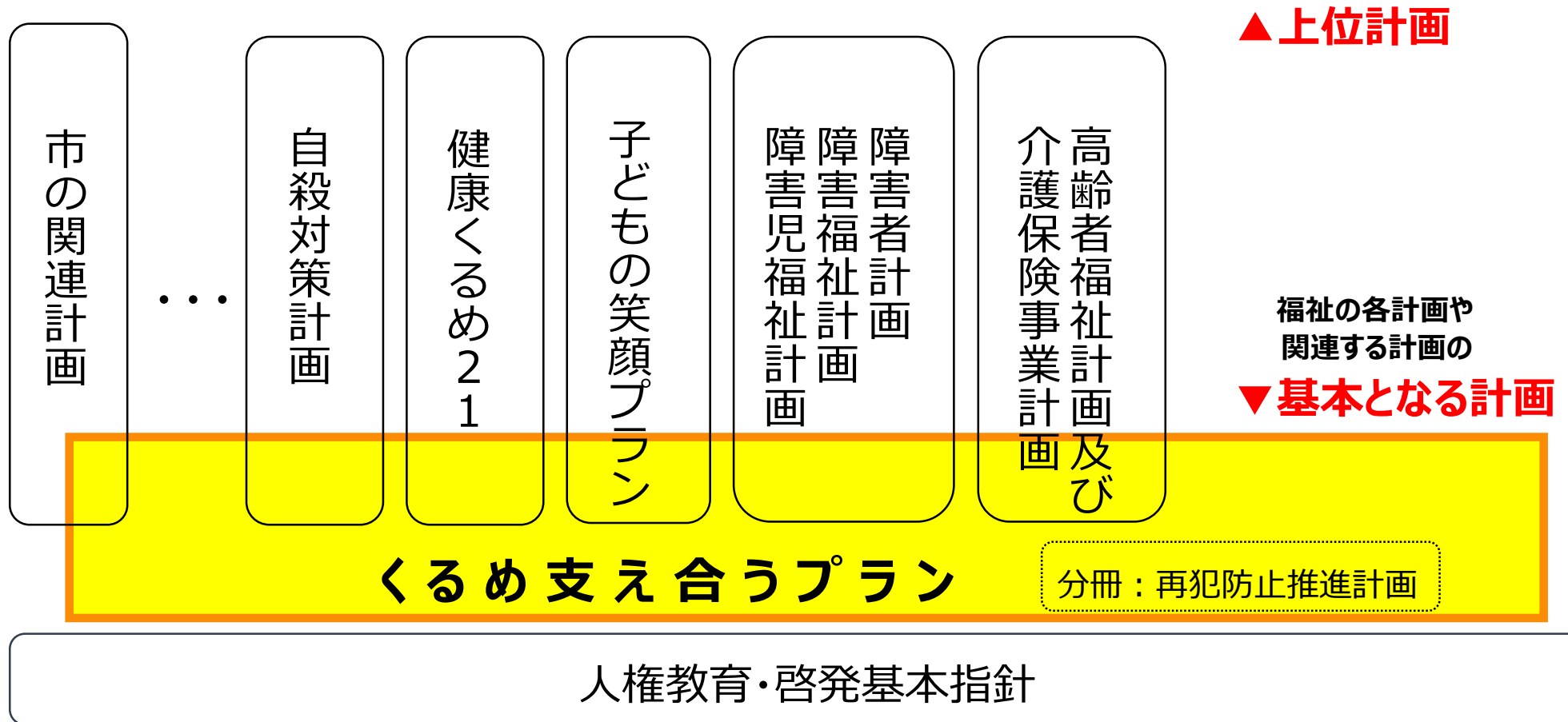
●地域福祉活動計画とは

- ・ 地域住民、地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者が相互に協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画

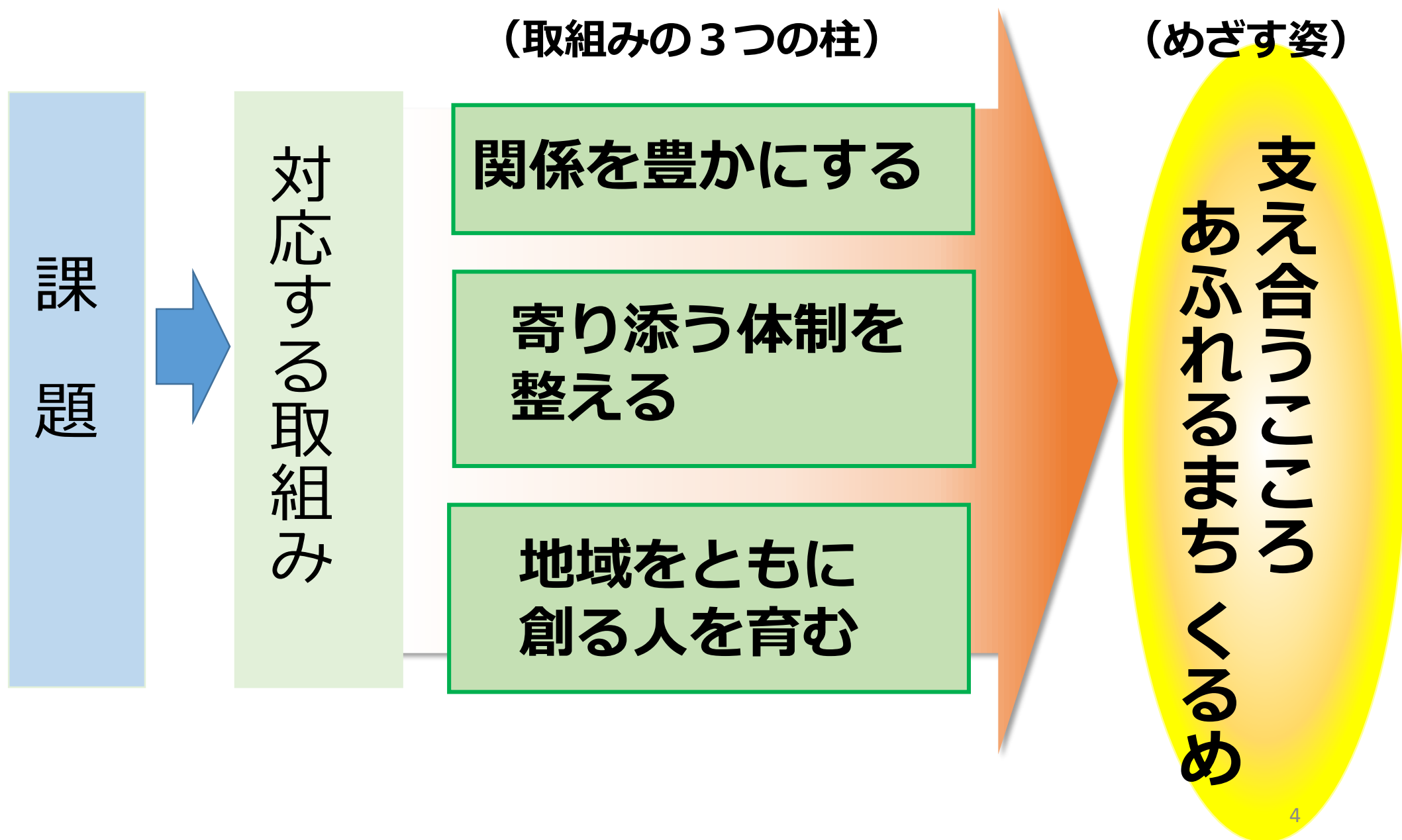
具現化の一手法が「重層的支援体制整備事業（**重層事業**）」
※R3年度より実施

各計画等との関係図

新総合計画（目指す都市像：市民一人ひとりが輝く都市くるめ）



現プランの体系

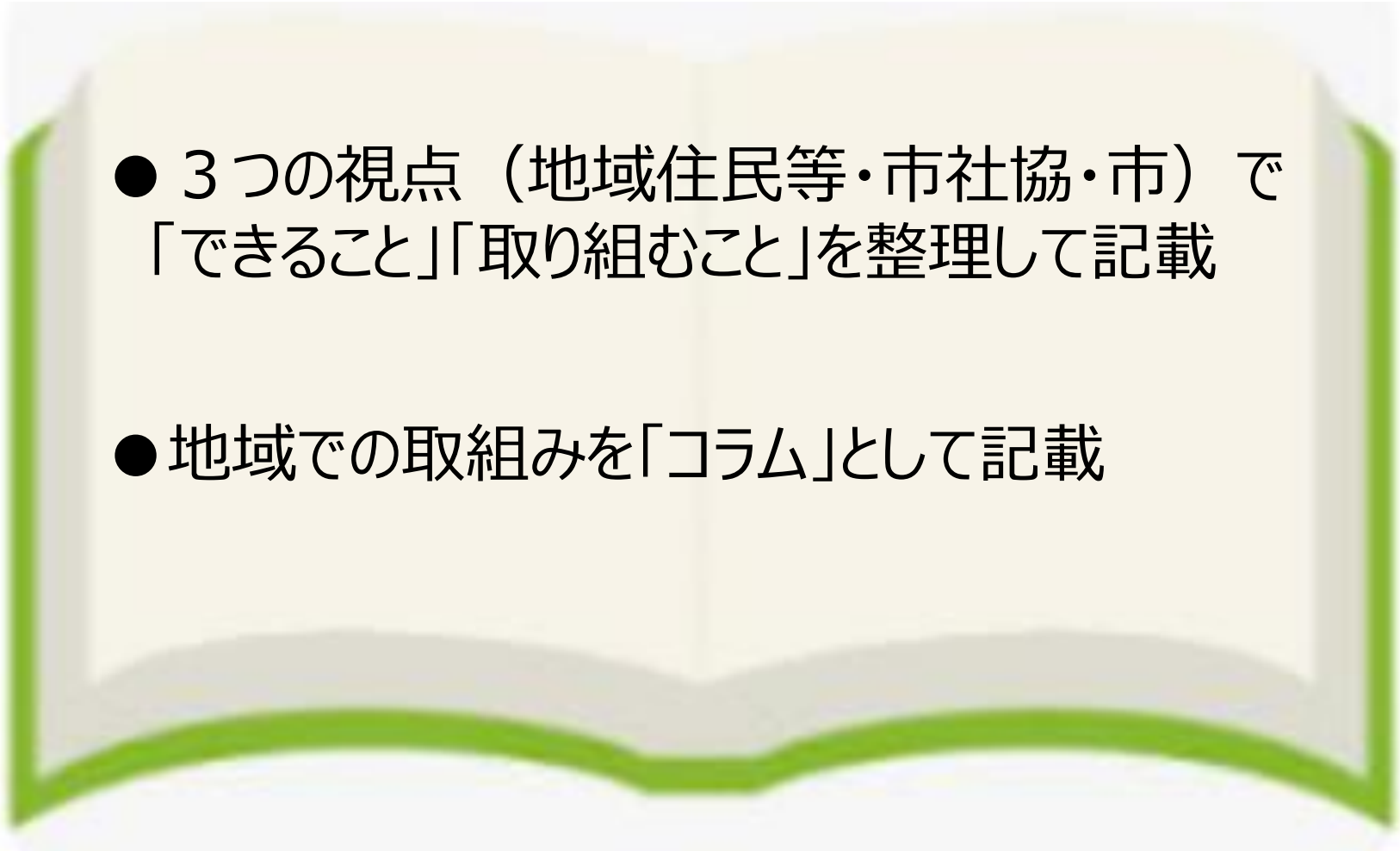


現プランの内容（課題とそれに対する取組み）

8つの課題		取組方針	13の取組項目
①支え合う意識やつながりの希薄化への対応が必要		関係を豊かにする	(1) つながりの構築
②誰もが気軽に集える場の不足への対応が必要			(2) 見守り活動の推進
③相談しづらいことへの対応が必要			(3) 誰もが集える場の拡充
④複合的な課題や制度の狭間の課題等への対応が必要		寄り添う体制を整える	(4) 個別の対応が必要な人への支援
⑤地域防災力の強化が必要			(5) 災害時に支援が必要な人への支援
⑥地域活動等の担い手不足への対応が必要			(6) 権利擁護の推進
⑦地域住民等への支援の強化が必要			(7) 多機関連携の推進
⑧情報が適切に入手できていないことへの対応が必要			(8) 財源確保の推進
		地域をともに創る人を育む	(9) 地域における人材の育成
			(10) 地域コミュニティ組織等への支援
			(11) 社会福祉法人・学校・事業所等の地域貢献の促進
			(12) 福祉人材の育成と資質の向上
			(13) 福祉への理解を深める取組みの推進

現プランの内容（構成）

プランが、地域住民等・市社会福祉協議会・市が協働して取組む指針となることを目指し、

- 
- 3つの視点（地域住民等・市社協・市）で「できること」「取り組むこと」を整理して記載
 - 地域での取組みを「コラム」として記載

現プランの内容（成果指標）

成果指標	目標項目	基準	R7目標	中間実績
＜指標1＞ 全体	地域での支え合いや助け合いが充実していると感じる市民の割合	64.1% (R1調査)	70.0%	62.0% (R4調査)
＜指標2＞ 関係を豊かにする	地域での見守り訪問活動件数	226,650件 (H30実績)	296,000件	241,061件 (R3実績)
＜指標3＞ 寄り添う体制を整える	生活自立支援センターの新規相談受付件数	1,020件 (H30実績)	1,020件	2,044件 (R3実績)
＜指標4＞ 地域とともに創る人を育む	①助けを求めることができる人がいる市民の割合	81.3% (R1調査)	87.0%	82.8% (R4調査)
	②困っている人の相談にのることができる市民の割合	23.7% (R1調査)	29.0%	23.8% (R4調査)

現プランの見直しの視点

全体ボリュームが大きく、住民等に浸透しにくい



わかりやすく、住民が普段の暮らしの中で人とのつながりを生み出していくことにつながるものに

具体的取組みと指標の関連性がわかりにくい



プランの成果指標について改めて検討が必要

次期プランの策定の方向性（案）

現プランの法的性格は次期プランでも継続

地域福祉課題に継続的に取り組んでいくため、現プランの「めざす姿」である『支え合うところあふれるまちくるめ』の理念を次期プランに引き継ぐ

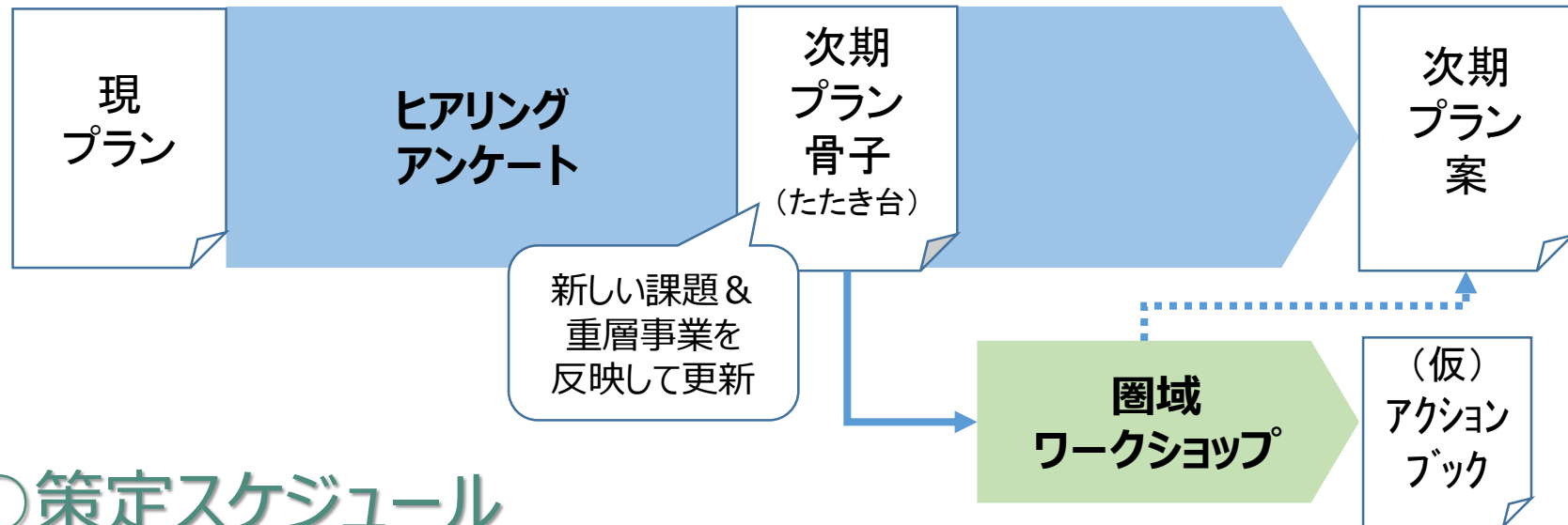
ヒアリング・アンケート・ワークショップを通じて、現プランの8つの課題と13の取組項目をベースに、新しい課題等を踏まえて再整理

プラン本編に加え、住民同士で、暮らしの中での人とのつながりを生み出すことを支援するコミュニケーションツール（アクションブックなど）を作成

進捗状況を評価しやすい成果指標を設定

意見聴取の流れと策定スケジュール（案）

○意見聴取の流れ



○策定スケジュール

